

## 全国不動産文化財データベース

伊東太作  
奈良国立文化財研究所

全国規模の遺跡、史跡、名勝、天然記念物、歴史的建造物などいわゆる不動産文化財のデータベース作成およびコンピュータによる全国ネットワークを望む声が聞かれてから久しい。しかし、その数の龐大さ、データの多様性、予想される多額の費用などの点から、今日までその着手が見送られてきた。しかし、全国30万ヶ所といわれる遺跡、年間2千冊を超える発掘報告書の数からしても、全国規模のデータベースを構築して、文化財保護行政、研究者に資することは急を要する事態となっている。ただ、これは1機関が行なえる仕事の量をはるかに超えている。都道府県、市町村単位でデータをまとめ、持ち寄って大きなデータベースにしてゆくより無いと思われるが、ここで問題となるのが、データファイルの規格性である。全国で共通する項目を話し合いの上策定し、統一規格のデータシートを作成してデータ入力しようというのが、この企画の狙いである。

Data-base system for cultural heritage in Japan  
Taisaku Itoh  
Nara National Cultural Properties  
Research Institute

It has been long since the demand was raised for a data-base for historical monuments, sites, building and natural monuments, and nation wide network of computer data retrieval system.

We have not started the actual built-up of such a system until now because of the great expense estimated and vast quantity and diversity of data involved.

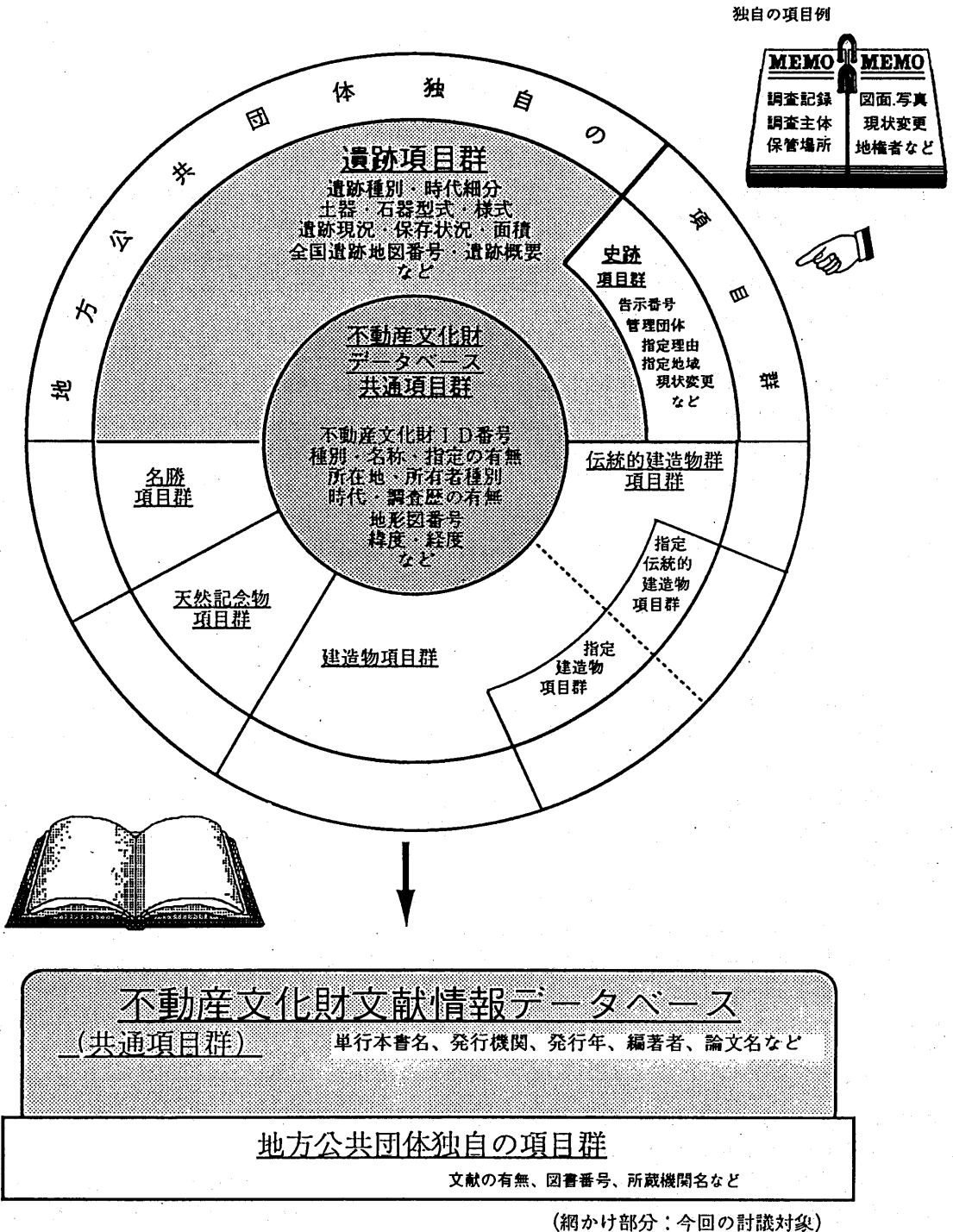
The construction of the system is urgently needed to support the researchers and scholars as well as policy makers for the cultural property protection for there are more than 3 hundred thousand historical sites in this country, and more than 2 thousand excavation reports are published within a year. But the task is too much for any one institute of the government to carry out.

The only practical way is for each village, town, city and prefecture to compile its own data in a sub-data-base by putting them into one.

And we need a standardized data file.

The aim of this project is to prepare the standardized data-sheet by providing a forum in which all those who are concerned with such a data-base system to exchange their view.

# 1. 不動産文化財データベースの構造



## 1. 全国不動産文化財データベースの対象

文化財と総称されるものの内、遺跡、建造物、名勝、天然記念物など土地に密着した文化財を不動産文化財と称する。その数は、遺跡が約30万件、その他を併せると約50万件と推定されている。これが、このデータベースの対象とするデータ群である。

## 2. 不動産文化財データベースの構造

### 2-1. 共通項目群

さまざまな形の不動産文化財であるが、そのデータの中に、共通する項目がある。所在地（緯度・経度）、時代、文化財として国あるいは都道府県、市町村などが指定しているかどうか、過去に調査したことがあるか、その際の報告書、あるいはそれに関する論文の有無などである。これにIDを付し、名称、所有者などを付記して不動産文化財データベースの共通項目とする。ただし、一つの区域の中に、史跡・名勝・天然記念物があり、さらには重要文化財に指定された建造物もあるという場合がある。これらを1個のID番号で処理するというのは難しい。各種別ごとに異なったIDを付し、それぞれの項目群にリンクしてゆくという構造である。

### 2-2. それぞれの項目群

共通項目群の下に、それぞれの項目群をおく。遺跡、建造物はさらに、指定物件の項目群を包括する。

ここでは遺跡項目群の各項目を見てみよう。

#### 時代・遺跡種別

ここでは、表のように時代を縦軸に、遺跡の種別を横軸にとったマトリックスコード表によりコード入力する。一見複雑なようであるが、時代をまたがる複合遺跡の場合混乱を避けるには他に方法を考え付かない。たとえば、時代と遺跡の種別を別個に入力した場合、縄文時代の寺跡という検索結果がありうる。このように極端な場合は、その都度判断できるが、縄文時代の集落跡に、弥生時代の墓地在重なった遺跡の場合問題となろう。このコード表に基づいて入力すれば、この混乱は避けられる。ただし、やはり複雑であり、ある程度の誤入力は覚悟しなければならないだろう。

#### 立地・現況・保存状況

できるだ最小限度にとどめた。地方自治体が、このデータベースを、遺跡管理に使用する場合、当然これでは不十分である。管理上必要なデータは、後述するが、この項目群の下におく地方自治体独自の項目群に詳細なデータを持てばよい。

## 遺跡概要

ここでは、出土遺物、遺構、発掘歴、開発歴、その他の重要事項について記入する。この項目群が、このデータベースの最大の難所の一つである。それ以外の項目は、アルバイトにもある程度は判断して記入入力できるが、ここは、調査員にしか記入できない。ただ、いささか乱暴な計算ではあるが、全国の市町村数の概数を3000として、30万遺跡を割れば1市町村100件となる。のちのちの有効利用を考えれば、努力して出来ない数字ではない。

## 3. 不動産文化財文献情報データベース

この文献データベースは、あくまでも不動産データベースに付随する文献データベースであり、いわゆる図書管理上のものではない。文献1点ずつが不動産文化財IDを伴っており、そのIDで検索する。もちろん、各項目の1字検索も可能であるが、ここでは、いわゆる図書検索の機能は無い。ただ、各機関では、図書検索にも使用したいという要望が出てこよう。受入年月日、受入番号、図書番号、排架場所など、図書台帳的な項目は、さらにそのしたに設けた地方自治体独自の項目群に盛り込むこととする。

### 3-1. 文献情報データベースの構造

不動産文化財に関する文献を以下の3種に分類する。

- A. 1冊の報告書に不動産文化財1件が報告されているもの。
- B. 1冊の報告書に複数の不動産文化財が報告されているもの。
- C. 雑誌・紀要などに報告記載されているもの。

## 4. 指定不動産文化財項目群

史跡、重要文化財建造物、指定名勝、天然記念物など、国や都道府県、市町村が指定した不動産文化財には、上記の項目に加えて、指定年月日、管理団体、土地1筆ごとの所有者名、地番地目、指定境界杭の座標値など指定管理上の項目が加わる。さらに土地買収の状況や、不法発掘の記録など、公表することの出来ないデータもあろう。これらを、指定の項目群におく。地方自治体項目群と同様に、ここは特定の人（機関）のみがアクセスを許される。

## 5. データ作成

先にも述べたように、このデータ地方自治体（市町村）単位で作成する。それを県がまとめ、センターに送る。データを提供した自治体は、全国のデータを使用することができることとなる。

中には、データ作成に対応できない市町村もあろう。その場合、県がデータ作成を肩

代わりする必要が生じよう。いずれにせよ、センターは、データベース構築に際して、かなりの労力を費やさねばならないことは確実である。

## 6. データ量

データシートの各項目が全て制限字数いっぱいに入力されたとして、文献も含め、1件あたりおおよそテキスト部分だけで4KBである。これに50万件を乗ざると2GBという数字になる。ただし、制限字数いっぱいに入力される例はわずかであろうから、1GBほどを予想しておけば良いだろう。

## 7. データベースの利用

このデータベースは、データを提供したものは誰でも使用することができる。直接データ作成に関わらなかった研究者も、申請し、承認されることで使用することができることとなろう。方法としては、次のようなことが考えられる。

### 1. 全国オンライン

これは、理想ではあるが費用の点で先のこととなりそうである。努力目標としておきたい。

### 2. 都道府県、政令指定都市、国立博物館・研究所間オンライン

60ヶ所のオンラインは不可能ではない。文部省の予算要求も当面はこの辺に目標を置いている。

### 3. CD-ROM配布

集結したデータをCD-ROM化して実費で配布する。1枚に収録できない場合は、東日本版、西日本版などのように地域で分ける方法もあろう。当然何年かおきに改訂版をプレスしなければならない。

## 8. データ更新

1年間の遺跡の発掘調査は2万件を超える。刻一刻と新しいデータが発生するわけで、これに対処する必要がある。データ入力時と同様、市町村で追加訂正したものを、センターがまとめ月単位などでアップデートすることになるのか。

## 9. ダウンロード

このデータベースは、全国規模を念頭におき、全ての不動産文化財を網羅することを第1義としている。したがって個々について、研究者の意見の相違や見解の違いなどは考慮していない。また、市町村単位では、ここでとりあげた項目では不十分であろう。したがって、筆者の個人的な意見では、このデータベースに限って自由にダウンロードできるようにしたい。そのうえで個人の興味のある部分や、機関が必要とする部分を抜

き出し、肉付けすることによって、その個人や機関にとって使いやすい利用価値の高いデータベースとなろう。

## 10. 問題点

### 1. 経費

このデータベース作成にかかる経費は、ハードウェアを除いて、データシート作成、パンチの費用を1件あたり1,500円とすると7億5千万円ほどになる。しかし、先の計算式を用いると、1市町村あたり25万円平均となり不可能な数字ではない。

### 2. データ入力

市町村が抱える文化財担当者、社会教育課職員の数決して潤沢ではない。煩雑な作業が増えることになる。市町村の行政指導の立場にある人を説得し、データ入力作業が順当に運ぶ様、はたらきかける必要がある。

また、自治体の能力の違いから地方によってデータの精粗が出ることも予想される。このむらをなくし精度の高いデータベースにする必要がある。

### 3. センターの問題

このデータベースが動き出し公開の運びになれば、センターにはかなりの仕事量が要求されることが予想される。定員増が望み薄の昨今、これにどう対処すべきか、大きな問題である。

### 4. データの利用

先に述べたことと重複するが、データを提供した人がただちにこのデータベースを利用できる体制であることが、このデータベースを潤滑に運営できるかどうかの鍵を握っている。「お上にデータを提供したけれど、お上が握っているだけだ。」という批判をよく耳にする。



# 不動産文化財データベース データシート

不動産文化財ID番号		1000	市町村別不動産文化財ID番号							1010		
不動産文化財種別		1020	1. 遺跡	2. 名勝	3. 天然記念物	4. 建造物	5. 伝統的建造物群	9. その他				
名称	I	漢字	1030									
		ひらかな	1035									
	II	漢字	1030									
		ひらかな	1035									
	III	漢字	1030									
		ひらかな	1035									
所在地	I	市町村コード	1050									
		郡市区町村大字	1055									
		市町村コード	1050									
	II	郡市区町村大字	1055									
		市町村コード	1050									
	III	郡市区町村大字	1055									
		境界不動産文化財ID番号	1060									
	所有者種別(3以内に○)	1100	1. 国	2. 県	3. 市町村	4. 寺院	5. 神社	6. 法人	7. 個人	9. その他		
	主たる時代	1200								指定区分	1300	
調査・発掘の有無	1400	0. なし	1. あり						文献の有無	1500	0. なし	1. あり
2万5千分の1地形図番号	1600											
緯度	1601			経度	1602							
時代・遺跡種別	2010											
立地(3以内に○)	2020	1. 山地	2. 丘陵	3. 台地	4. 扇状地	5. 低地平地	6. 水底	7. 島嶼				
現況(3以内に○)	2030	1. 市街地・集落	2. 道路	3. 墓地	4. 耕作地	5. 山林・原野	6. 河川	9. その他				
保存状況	2040	1. 保存	2. 不良	3. 消滅	4. 不明	9. その他						
面積	2050				全国遺跡地区番号	2060			群集遺跡ID番号	2070		
概要	遺跡	主要な遺構	2100									
		主要な遺物	2110									
	主要な発掘	2120										
	概要	主要な開発	2130									
		その他	2140									